

許 可 番 号	倫-443
研 究 課 題 名	大規模災害時におけるインスリン製剤の備蓄と処方マニュアルの確立に関する研究
診 療 科	薬剤科
研 究 責 任 者	菅尾 高裕
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	菅尾 高裕
研究の目的と方法	<p>目的</p> <p>東海・東南海・南海地震が発生した場合の超急性期（災害発生時～3日間）ならびに急性期（4日～1週間目）における、糖</p> <p>尿病患者の治療薬（インスリン類）の備蓄量について検討を行う。</p> <p>また、薬歴やカルテなどの患者情報がない状況での処方支援ツールを提案する。</p> <p>方法</p> <p>1 静岡県が作成している静岡県東部沿岸地域における津波被害の想定を調査。静岡県が作成した被害想定をもとに、各自治体に具体的な被害想定を聞き取り調査し、より現実的な被害状況を想定する。</p> <p>2.静岡県東部地域において被災者が治療薬を求めて来院する範囲の想定。東日本大震災時に薬剤を求めて来院した状況を調査し、徒歩で来院するであろうエリアの想定を作成。</p> <p>3.静岡県東部地区における糖尿病患者数および使用している薬剤を調査する。</p> <p>4.治療薬（インスリン）を求めて来院する患者数を想定する。</p> <p>1～3の結果をもとに発災ご3から5日の間に来院する糖尿病患者の人数を想定する。</p> <p>5.備蓄すべき治療薬の種類及び数量を考案する。</p> <p>1～4の結果をもとに必要な薬剤の種類と備蓄量を算定する。</p> <p>6.処方支援ツールの提案。</p> <p>インスリン類の名称および投与量を記憶している患者と、名称や投与量を記憶していない患者の場合のフロチャートを作成し提案する。</p>
利用、又は提供する 試料・情報の項目	診療記録および患者居住地情報
研 究 対 象 者	順天堂静岡病院 外来・入院患者

研究対象期間	西暦2016年4月～西暦2017年3月の間
利用する者の範囲	当院のみで実施
個人情報の取扱いについて	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 順天堂大学医学部附属静岡病院 薬剤科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：菅尾 高裕